

三重大学 海女研究センター だより

vol.13
三重大学海女研究センター
(三重大学人文学部総務担当)
☎059-231-9195

写真が呼び覚ます記憶の数々

今回はアーカイブデータベース事業の最新活動を紹介します。

海の博物館に所蔵される鳥羽志摩の漁業・漁村に関する写真や映像のデータベースを構築する事業で、成果はセンターのホームページで公開し、写真展のかたちで地元のみなさんとも共有してきました。

昨年度に相差で開催した写真展では、昭和40年代以降の写真52枚を展示しました。

これまでは海の博物館所蔵の写真の展示が中心でしたが、今回は事前に提供された、相差のみなさんが所蔵する古写真も展示しました(集まった写真は100枚を超えました)。過去の写真展でも、

地域のみなさんが写真を提供してくださることが多々あり、いずれもデータを大学に保管し貴重な学術資産として受け継いでいます。

写真展会場では展示写真に関する思い出話に花が咲き、センターのスタッフと人文学部の学生が、それぞれのお話を記録しました。

たとえば写真1は正月の獅子舞の夜、神明神社の広場での舞を収めたものです。朝から町内を回ったあととどろき着くこの広場では、疲労と興奮が混じり合った熱気が渦巻き、みんなが押しあいへしあいしながら舞を見物したそうです。この写真を読み解くときには、学術的には獅子舞の作法などに注目しがちですが、町のみなさんの語りのおかげで、研究者の目だけでは気づかないさまざまな情報が生き生きと蘇ってきました。

写真2は熊野にテングサ採りの出稼ぎをしたときの集合写真



写真1 相差獅子舞



写真2 熊野での出稼ぎ

真で、相差と石鏡の海女だそうです。熊野で出稼ぎをした80代の海女さんは、「電気がないからランプを使って、川から水を汲んで風呂当番をした。みんなで布団を並べて寝た」「相差の潮の質と違うから、髪が茶色になった。家に帰る前に熊野で黒く染めた」など、たくさんさんの経験を教えてくださいました。「大変で、遊びに出られる休みの日がうれしくて。今になって思うと、あんなこととして生活しながら振り返る目に、たくさんさんの苦勞をしながら日々を生きてこられた力強さを感じました。

今後このような活動を通して、地域のみなさんとともに大切な記憶を残していきます。

(連携研究員 吉村)

キーワード

#温泉ついでに健康増進
#旅館で介護予防

何かのついでに運動が行える場として、ショッピングセンターのなかで行う「お買い物ついでに健康増進」企画をこれまで全18回(月1回)継続してきました。現在では、ここでの運動に参加すると「イオン健康づくりチャレンジカード」のスタンプ1個を獲得でき、30個たまるとイオン鳥羽店のノベルティや商品と交換してもらえらる「健康マイレージ事業」とも連動しています。このため、これを目的に運動へ参加されるかたもあり、「ついでに」の魅力は増してきています。

そこで今度は、多くのかたにご協力いただき、旅館「扇芳閣」を会場とする「温泉ついでに健康増進」を開催しました。この企画は、扇芳閣の温泉入浴と館内にあるカフェ「MUSEE」のドリンクを一緒に利用できる特別券



くわしくはwebサイト「トバゴト」で確認してください

の購入ついでに、運動へ参加していただくという内容でした。普段、自分ごとになりにくい介護予防のコトですが、温泉とドリンクの魅力に運動を加えることで、当日は様々な年齢層のかたに参加いただきました。また、この企画が波及し、ほかの場での運動機会につながったという話もありました。このように、「ついでに」というキーワードのもと、民間企業のみなさんと協働させていただくことで、介護予防事業(福祉)はより多くのかたへ届けられる可能性がありそうです。そこで、2回目の「温泉ついでに健康増進」を10月11日(金)に企画しています。温泉とドリンクついでに、運動はいかがですか？

とばびと
活躍
プロジェクト

トバゴト

Vol.30



トバゴトQRコード

健康福祉課長寿介護係
(生活支援コーディネーター 杉浦徹)

☎ 25 1186